

～中部地方整備局防災課より～

防災エキスパートの皆様方には、日頃より中部地方整備局の防災業務に対しご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

平成26年度におきましても、南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会広域連携防災訓練をはじめとする各種防災訓練への参加、重要水防箇所の河川巡視、道路防災週間における危険箇所点検など、多くの面でご協力をいただき、訓練・点検等を円滑に実施することができました。

今年も中部地方整備局管内及び全国各地で水害や土砂災害が多発しました。長野県南木曾町の土砂災害、兵庫県丹波市の土砂災害、広島市の土砂災害、高山市の水害など、現地調査や市町との現地情報連絡のためのリエゾンを含めて多くの TEC-FORCE 隊員を派遣しました。

現在、中部地方防災エキスパートは登録者300名余を有する強力な防災ボランティア組織として、その活動に対する期待はますます高まっています。

中部地方整備局では、大規模災害への対応を円滑に進めるための体制確立、被害情報収集体制の充実のために、防災エキスパートの皆様にご活躍いただきたいと考えています。

防災エキスパート制度要綱を平成23年に改正し、地震・豪雨災害時における情報収集、他地整から派遣される TEC-FORCE 隊員への地理案内、地域特性の説明支援、リエゾンの情報連絡支援等にも活動領域を広げさせていただきました。

制度要綱の変更に伴い活動いただく場面も増えることとなりますが、何卒、ご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

～中部地方防災エキスパートの活動記録～

平成26年4月～9月下旬までの活動状況について報告いたします。

○平成26年度 中部地方防災エキスパート地区代表・世話役会議

6月5日(木) 10:30 から協会8階会議室において、26年度の地区代表・世話役会議を実施しました。

会議では、中部地整の取り組みとして①最近の災害派遣状況、②南海トラフ地震対策中部圏戦略会議の状況、③広域連携防災訓練などの取り組みが報告され、防災エキスパートについて、①委嘱状況、②活動の流れ、③今後の活動について報告されると共に活動の流れや今後の活動について質疑応答、意見交換が行われました。

活動実績をより積み上げていくためには、防災エキスパートと事務所職員との日頃からの相互の連携が重要との意見が出され、連携強化に向けた取り組みを進めていくことになりました。



総括防災調整官
井口泰行



事務所との意見交換の場などがセットされた折には、エキスパートの方々に
おいては積極的な参加をお願いします。

○中部地方整備局主催の防災訓練への参加

5月18日(日)に木曾三川連合総合水防演習・広域連携防災訓練が実施され、防災エキスパート5名が参加し、危険箇所の点検及び被災状況連絡訓練などを行いました。



○庄内川重要水防箇所河川巡視

5月27日(火)～6月6日(金)にかけて庄内川河川事務所管内における重要水防箇所の河川巡視が行われ、地元自治体、消防団と共に防災エキスパート延べ7名が参加し、地震及び風水害等の大規模災害発生時に迅速な情報収集、協力活動を有効に行なうため庄内川の重要水防箇所、防災拠点等を確認、点検しました。



○道路防災に関する実地研修

6月12日(木)に静岡国道事務所管内の国道1号駿河区、国道52号清水区の道路危険箇所などを職員と共に防災エキスパート4名が参加し、地震及び風水害等の大規模災害発生時に迅速な情報収集、協力活動を有効に行なえるよう現地研修を行いました。(写真無)

○南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会広域連携防災訓練

8月31日(日)に木曾川河畔の河川環境楽園をはじめ富士山静岡空港、名古屋港、県営名古屋空港など広域的な防災拠点と連携したM9.0の巨大地震を想定した防災訓練が実施されました。河川環境楽園では、広域支援部隊の排水ポンプ車等多くの災害対策車や建設機械が集結しそれら対策車の現地案内として防災エキスパート3名が出動し訓練の一助を担いました。



○情報等連携訓練

9月1日(月)の防災の日に岐阜国道事務所と災害協定を締結している建設業協会と、震度6弱を想定した災害発生状況・道路啓開作業要請など情報等連携訓練が行われ、防災エキスパートにおいても自宅又は勤務先周辺の被災状況を自発的に行う自主活動訓練が行われました。訓練には5名の防災エキスパートが参加しました。(写真無)